

仕様書		仕様書番号	高工校企060002
		作成年月日	令和7年4月14日
件 名	高等工科学校生徒（一般）採用試験問題の作成・提供等	作成部課室	高工校企画室
		単 位	一式

- 適用範囲

この仕様書は、高等工科学校生徒（一般）採用試験問題の作成・提供等の委託について適用する。
- 目 的

高等工科学校生徒（一般）採用試験問題の作成・提供等を部外者に委託することにより、問題作成業務の効率化を図る。
- 参考図書

官側は必要に応じて、契約相手方に対し契約日から納期までの間、過去3か年分の高等工科学校生徒採用試験問題及び官側が必要と認める図書を貸し付ける。
- 役務内容
 - 全 般

ア 問題の出題形式は、五者択一とする。

イ 問題作成にあたっては、題意の把握が容易なように着意し、題意について疑義が生じないようにすること。

ウ 問題が、ある条件下で成立するような場合、その条件を明確にすること。

エ 過去3年間の高等工科学校生徒（一般）採用試験問題の他、自衛官の採用試験問題又は公刊図書に出題されている問題と類似した問題と誤解されないように配慮すること。

オ 誤字、脱字がないこと。

カ 問題それぞれに解答（正答表を含む）、解説を添付すること。
また、問題は別紙第1～5「試験問題作成資料」に示す分野及び出題内容で作成するとともに、「試験問題作成資料」の1～5項の表内の空欄をすべて記入すること。

キ 問題の形式（文字の大きさ、字体等を含む。）は、過去問題を参考にすること。

ク 二重否定の問題は避けること。
 - 表現及び用語の使用

ア 表現は、疑義が生じないように、明確であるとともに簡潔であること。

イ 用語は、受験者全員に同じように解釈されるものであること。

ウ 慣用の学術用語及び訳語は、一般社会で統一されているものであること。

エ 中学校第3学年2学期（12月末まで）までに学習する常用漢字（平成22年内閣告示第2号）以外の漢字の使用は必要最小限に留めるとともに、使用する際は、ふりがな（ルビ）を付けること。
 - 選択肢の形式

ア 解答は、あらゆる角度からみて確実に正しい唯一のものであること。

イ 相互に独立したものであること。

ウ 一つの選択肢が他の選択肢と関連があり、それにより解答が見いだされることがないこと。

エ 各選択肢は、平等又は対等で極端に次元の異なるものでないこと。

オ 選択肢の配置は、数的又は一般的に順序がある場合、その順序に従って配置すること。
 - 問題の出題範囲等

ア 出題範囲は、中学校第3学年2学期（12月末まで）程度の学習範囲とし、中学校の学習範囲を厳守すること。

イ 問題は、計算用紙の配布を必要とせず、試験問題の余白で計算可能なものとする。

ウ 問題の種類・難易度は参考図書と同等となるようにすること。

エ 応募資格のある者の中で、教育を受けた時期により極端な差が生じない様に配慮すること。

(5) 出題科目、問題数及び解答要領

ア その1

国語25問、社会20問及び理科20問の合計65問全問解答とし、試験時間は120分とする。

イ その2

数学25問、英語25問の合計50問全問解答とし、試験時間は100分とする。

(6) 解答及び解説の作成・提供

ア 解答は、当て推量による正解を避けるように出現順序及び出現頻度に配慮すること。

イ 解説は、解答に至るまでの過程を詳細に記述し、図、表、グラフ等を用い、理解が容易なようにすること。

(7) 作成部数

3種類 各1部ずつ

5 納期（基準）

確定稿を令和7年8月25日（月）までに納品すること。

※ 初校納入後、校正を3回（基準）実施する。初校納入時期は、令和7年6月16日（月）を基準とするも、細部は調整による。

6 納品（提供）要領

契約相手方は、第4項のとおり問題等を作成した後、次の要領で紙媒体（1部）とデータ（可搬記録媒体に記録）を官側に納品（提供）するものとする。

(1) 紙媒体

ア 上質紙（A4縦）に片面印刷し、ページを付す。

イ フラットファイル（A4縦）に綴じ、「件名」、「契約相手方名称」及び「納品日」を表示する。

ウ 部数は、「問題」と「解答、解説及び試験問題作成資料（予想正答率含む）」各1部（別綴じ）とする。

(2) データ

ア マイクロソフトオフィスを使用して編集できる状態で、可搬記録媒体に記録する。

イ 納品する可搬記録媒体は、ウイルス検索及びパスワード設定（別示）等保全に万全の注意を払うものとする。

(3) 校正

ア 校正時の提出は、データ提出とし、官側による校正は校了まで（3回を基準）実施するものとする。この際、契約の相手方は、官側が指示する修正に基づき、問題を修正し、速やかに高等工科大学企画室に提出するものとする。その際契約の相手方は、別紙第1から第5までに示す試験問題作成資料及び別紙第7を添付し、修正した箇所を明確に示すとともに、校正の都度、官側の確認を受けること。

イ 校正時の提出データは、校正前後の修正箇所を赤字等で分かるようにした上で、校正前後の問題全文をそれぞれ添付すること。

7 検 査

第4項第1号カの問題数及び第6項について実施する。

8 役務に付帯し要求する事項

(1) 書類提出

ア 入札参加希望者に対し、問題作成能力等を確認するため書類提出を求める。

イ 提出書類は、別紙第6のとおりとする。

(2) 検 証

契約相手方は、試験問題の作成にあたり、出題ミス等がないよう確実な検証を実施するものとし、そのチェック状況を別紙第7により教科ごと作成し官側に提出するものとする。特に、担当者2名による相互チェックを確実に実施し、別紙第7に記名すること。

(3) 保 全

ア 契約相手方は、社内保全規則を定めており、問題作成者として保全に万全の注意を払うものとする。

イ 問題作成（取扱い等を含む。）に第三者が関わる場合も同様に保全に万全の注意を払うものとする。

ウ 特に問題作成から試験実施までの間、原稿（作成途中のもの、データ等を含む。）、問題作成資料、反故紙等の保管・破棄・作成場所・保管場所等に万全の注意を払うものとする。

(4) 質疑応答等

ア 契約相手方は、第6項のとおり納品された問題（以下「納品問題」（解答（正答表を含む。）、解説及び試験問題作成資料を含む。本仕様書において、特に記載がない限り同じ。）という。）について、官側からの質疑に対し、適時適切に応答すること。

イ 本仕様書で作成する問題は、納品から試験で使用するまでに相当な期間を経過する場合があることから、契約相手方は納品問題の納品から試験で使用するまでの間、経年変化等に留意し、納品問題に修正が必要となった時は、速やかに官側に通知するとともに、所要の修正をすること。また、試験問題の増刷前の最終的な点検に協力すること。

(5) 試験当日の態勢等

契約相手方は、別に連絡する試験日において、当該試験問題に関する受験者からの質疑に適時適切な応答が可能な態勢を保持するとともに、官側と二系統以上の連絡手段を保持すること。

(6) 開示請求及び自衛官募集ホームページ掲載への同意

当該試験問題に対する開示請求及び自衛官募集ホームページ掲載については、その都度、協議することなく契約相手方は、同意しているものとみなす。

9 その他

(1) 契約相手方は、問題作成・提供等のため知り得た事項に関し、官側の許可なく発表・利用等を行わないものとする。

(2) 契約相手方は、本仕様書に疑義が生じた時及び問題作成上不明な事項については、その都度、速やかに官側と調整するものとする。

(3) 契約相手方は、本仕様書の役務等に必要な消耗品等を負担するものとする。

(4) 契約相手方は、納品問題の品質に不適合がある時は、契約不適合責任を負うものとし、官側と協議の上、所定の対応をするものとする。

(5) 試験問題作成の際、試験問題案等の管理及び校正データの授受に当たっては情報保全に留意し、官側と協議の上、情報流失防止に必要な手段を講ずること。

試験問題作成資料

種 目【 高等工科学校生徒 】

科 目【 国 語 】

1 総括

問 題 番 号	分 野	出題内容	履修 学年	正答 番号	予 想 正答率
1	国語常識	漢字の書き			
2	国語常識	漢字の読み			
3	国語常識	故事成語			
4	国語常識	敬語			
5	評論文	空欄補充 (素材文は 1500 字程度)			
6	評論文	空欄補充 (素材文は 1500 字程度)			
7	評論文	空欄補充 (素材文は 1500 字程度)			
8	評論文	言葉の意味 (素材文は 1500 字程度)			
9	評論文	慣用表現 (素材文は 1500 字程度)			
10	評論文	内容把握 (素材文は 1500 字程度)			
11	評論文	内容把握 (素材文は 1500 字程度)			
12	評論文	内容把握 (素材文は 1500 字程度)			
13	評論文	内容把握 (素材文は 1500 字程度)			
14	小説	空欄補充 (素材文は 2000 字程度)			
15	小説	空欄補充 (素材文は 2000 字程度)			
16	小説	言葉の意味 (素材文は 2000 字程度)			
17	小説	内容把握 (素材文は 2000 字程度)			
18	小説	内容把握 (素材文は 2000 字程度)			
19	小説	内容把握 (素材文は 2000 字程度)			
20	小説	内容把握 (素材文は 2000 字程度)			
21	古文	言葉の意味 (素材文は 600 字程度)			
22	古文	主語の確認 (素材文は 600 字程度)			
23	古文	内容把握 (素材文は 600 字程度)			
24	古文	内容把握 (素材文は 600 字程度)			
25	古文	内容把握 (素材文は 600 字程度)			

2 出題数

分 野	1年	2年	3年	合 計
国語常識				
評論文				
小 説				
古 文				

3 予想正答率別出題数

予想正答率	問題数	割合 (%)
40%		
50%		
60%		
合 計		

4 正答番号数及び頻度

正答番号	問題数	頻度 (%)
1		
2		
3		
4		
5		

5 参考資料

問 題 番 号	参考資料名	参考とした概要
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

試験問題作成資料

種 目【 高等工科学学校生徒 】

科 目【 数 学 】

1 総括

問 題 番 号	分 野	出題内容	履修 学年	正答 番号	予 想 正答率
1	数と式	正の数・負の数			
2	数と式	文字を用いた式の四則計算			
3	数と式	文字を用いた式の四則計算			
4	数と式	平方根			
5	数と式	平方根			
6	数と式	一元一次方程式			
7	数と式	連立二元一次方程式			
8	数と式	式の展開と因数分解			
9	数と式	式の展開と因数分解			
10	数と式	二次方程式			
11	関数	比例・反比例			
12	関数	比例・反比例			
13	関数	一次関数			
14	関数	一次関数			
15	関数	関数 $y = ax^2$			
16	関数	関数 $y = ax^2$			
17	図形	平面図形			
18	図形	空間図形			
19	図形	空間図形			
20	図形	基本的な平面図形と平行線の性質			
21	図形	図形の合同			
22	図形	図形の相似			
23	データの活用	データの分布と傾向			
24	データの活用	場合の数を基にして得られる確率			
25	データの活用	場合の数を基にして得られる確率			

2 出題数

分 野	1年	2年	3年	合 計
数と式				
関 数				
図 形				
データの活用				

3 予想正答率別出題数

予想正答率	問題数	割合 (%)
40%		
50%		
60%		
合 計		

4 正答番号数及び頻度

正答番号	問題数	頻度 (%)
1		
2		
3		
4		
5		

5 参考資料

問 題 番 号	参考資料名	参考とした概要
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

試験問題作成資料

種 目【 高等工科学校生徒 】

科 目【 理 科 】

1 総括

問 題 番 号	分 野	出題内容	履修 学年	正答 番号	予 想 正答率
1	物理	光の性質 または 音の性質			
2	物理	力と圧力			
3	物理	電流と磁界			
4	物理	電流と電圧			
5	物理	運動の変化と力			
6	化学	状態変化 または 物質のすがた			
7	化学	溶解度と再結晶			
8	化学	物質の成り立ち			
9	化学	化学変化と物質の質量			
10	化学	水溶液とイオン			
11	生物	生物の体の共通点と相違点 または 生物の観察と分類の仕方			
12	生物	植物の体のつくりと働き または 動物の体のつくりと働き			
13	生物	生物と細胞			
14	生物	生物の成長と殖え方			
15	生物	遺伝の規則性			
16	地学	火山			
17	地学	地震			
18	地学	地層			
19	地学	気象			
20	地学	雲のでき方と水蒸気			

2 出題数

分 野	1年	2年	3年	合 計
物 理				
化 学				
生 物				
地 学				

3 予想正答率別出題数

予想正答率	問題数	割合 (%)
40%		
50%		
60%		
合 計		

4 正答番号数及〇頻度

正答番号	問題数	頻度 (%)
1		
2		
3		
4		
5		

5 参考資料

問 題 番 号	参考資料名	参考とした概要
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

試験問題作成資料

種 目【 高等工科学校生徒 】

科 目【 社 会 】

1 総括

問 題 番 号	分 野	出題内容	履修 学年	正答 番号	予 想 正答率
1	地理的分野	系統地理（自然地理）			
2	地理的分野	系統地理（人文地理）			
3	地理的分野	地誌（世界）			
4	地理的分野	地誌（世界）			
5	地理的分野	地誌（日本）			
6	歴史的分野	日本史（古代史まで）			
7	歴史的分野	日本史（中世史）			
8	歴史的分野	日本史（近世史）			
9	歴史的分野	日本史（近世史）			
10	歴史的分野	日本史（近代史）			
11	歴史的分野	日本史（近代史）			
12	歴史的分野	日本史（現代史）			
13	歴史的分野	日本史（現代史）			
14	歴史的分野	世界史（近代の日本と世界）			
15	歴史的分野	世界史（現代の日本と世界）			
16	公民的分野	政治（憲法〔基本的人権の保障〕）			
17	公民的分野	政治（憲法〔国民主権〕）			
18	公民的分野	政治（憲法〔平和主義〕）			
19	公民的分野	政治（国家三権〔国会・内閣・裁判所〕）			
20	公民的分野	経済（市場経済の機能）			

2 出題数

分 野	1年	2年	3年	合 計
地理的分野				
歴史的分野				
公民的分野				

3 予想正答率別出題数

予想正答率	問題数	割合 (%)
40%		
50%		
60%		
合 計		

4 正答番号数及〇頻度

正答番号	問題数	頻度 (%)
1		
2		
3		
4		
5		

5 参考資料

問 題 番 号	参考資料名	参考とした概要
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

試験問題作成資料

種 目【 高等工科学校生徒 】

科 目【 英 語 】

1 総括

問 題 番 号	分 野	出題内容	履修 学年	正答 番号	予 想 正答率
1	読解・語彙	短文から連想する基本英単語の綴りを書かせる。			
2	読解・語彙	短文から連想する基本英単語の綴りを書かせる。			
3	読解・語彙	短文から連想する基本英単語の綴りを書かせる。			
4	読解・語彙	短文から連想する基本英単語の綴りを書かせる。			
5	対話文・文法	不定詞・分詞・関係代名詞・間接疑問文・比較表現・現在完了・受動態のいずれか			
6	対話文・文法	不定詞・分詞・関係代名詞・間接疑問文・比較表現・現在完了・受動態のいずれか			
7	対話文・文法	不定詞・分詞・関係代名詞・間接疑問文・比較表現・現在完了・受動態のいずれか			
8	対話文・文法	不定詞・分詞・関係代名詞・間接疑問文・比較表現・現在完了・受動態のいずれか			
9	対話文・文法	不定詞・分詞・関係代名詞・間接疑問文・比較表現・現在完了・受動態のいずれか			
10	資料解釈	表などの資料の内容把握			
11	資料解釈	表などの資料の内容把握			
12	資料解釈	表などの資料の内容把握			
13	資料解釈	表などの資料の内容把握			
14	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
15	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
16	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
17	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
18	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
19	対話文読解	対話文（５５０語程度）の内容把握			
20	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			
21	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			
22	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			
23	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			
24	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			
25	長文読解	説明文（５５０語程度）の内容把握			

2 出題数

分 野	1年	2年	3年	合計
読解・語彙				
対話文・文法				
資料解釈				
対話文読解				
長文読解				

3 予想正答率別出題数

予想正答率	問題数	割合 (%)
40%		
50%		
60%		
合 計		

4 正答番号数及び頻度

正答番号	問題数	頻度 (%)
1		
2		
3		
4		
5		

5 参考資料

問 題 番 号	参考資料名	参考とした概要
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

問題作成能力等の確認のための提出書類

1 件 名

高等工科学学校生徒（一般）採用試験問題の作成・提供等

2 提出書類

(1) 問題作成能力等に関する提出書類

ア 会社の沿革がわかるもの

イ 自衛官、防衛省職員、国家公務員及び地方公務員等の採用試験問題の作成実績（付紙第1）

ウ 主要な受注実績（主な受注件名、年間受注件数及び団体等、継続的に請け負っている件数及び団体等名）

エ 社内保全規則及び採用試験問題作成における保全態勢

※ 第三者が問題作成（取扱い等を含む。）する場合は、第三者に関するものを含む。

オ 科目ごとの作問及び校正担当者表（付紙第2）

カ 試験問題作成において、自社のみで作成を完結できる証明

キ 試験日当日における試験問題内容の問合せ等の連絡態勢

ク 開示請求への可否についてわかるもの

(2) 参考資料としての提出書類

受験者の試験問題持ち帰りの可否についてわかるもの

3 提出部数

各1部

4 提出書類の様式

付紙第1及び第2以外は任意とする。（提出書類には、会社名等を表示するとともに、第2項の順に綴るものとする。）

5 提出期限

分任契約担当官の定めによる。

6 提出先

東部方面会計隊第407会計隊契約班

7 その他

(1) 第2項の書類は、これまで何らかの形で防衛省へ提出又は説明済みのものであっても、漏れなく提出すること。

(2) 書類提出後、官側から補足資料等の提出を求める場合には、速やかに対応すること。

高等工科学校生徒（一般）採用試験問題のチェック状況表

項目	設問番号																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
共通事項	問題文、選択肢及び図面等（以下「設問」という）の形式、記号等の書体が、設問全体において統一されていること																								
	官側が貸与する過去の試験問題と類似している問題がないこと																								
	用語は、全ての受験者に同じように解釈されるものであること																								
	設問及び解答及び解答解説書に誤字・脱字及び矛盾がないこと																								
	設問の正答番号と解答及び解答解説書の正答番号が一致していること																								
出題範囲	予め指示した出題範囲から出題されていること																								
難易度	難易度が予め指示した程度であること																								
設問内容	確実に一つの正答が導き出せる設問であること																								
検証	設問には、分かりにくい言い回しや不要な記述がないこと																								
	問題文・選択肢及び図面等との関係が適切であること																								
	正答に至るための必要な条件等が、設問中に含まれていること																								
	受験者が、現在の教育課程のもとで履修しているものであること																								
	試験実施時、事実が異なるおそれがある場合は、設問中に適切な注釈等の記載がなされている																								
	試験問題中の他の設問を参考に解答できる問題でないこと																								
	検証責任者を含む、複数の検証担当者により複数回校正したこと																								

※ 1 各設問番号ごとに上記の検証項目についてチェックを行い、完了後は「レ」を記入すること。

※ 2 提出の際、検証責任者及び検証担当者は必ず署名及び押印をすること。

陸上自衛隊高等工科学学校長 殿

上記の各項目について、社内で検証を実施したことを証明します。

令和 年 月 日

検証責任者

印

検証担当者

印

自衛官、防衛省職員、国家公務員及び地方公務員等の採用試験問題の作成実績

[illegible]

高等工科学学校生徒（一般）採用試験問題の作問及び校正担当者表

[illegible]

※ 問題作成及び校正はそれぞれ作問実績を有すること

問題校正は2名以上で実施すること